

一の宮直売所「四季彩いちのみや」
・加工所「工房阿蘇ものがたり」

ICHINOMIYA

QUAINT COUNTRY MARKET



くまもとアートポリス
kumamoto artpolis

熊本県 くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課
〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1
☎ 096-383-1111 (6215)



一の宮直売所「四季彩いちのみや」 ・加工場「工房阿蘇ものがたり」



● 建築データ

名称：一の宮直売所「四季彩いちのみや」
・加工所「工房阿蘇ものがたり」

所在地：阿蘇市一の宮町宮地 538-1

事業主体：一の宮町

設計者：岡部憲明

敷地面積：10,143.93 m²

施工期間：2002年11月～2004年3月

総工事費：310百万円

◆直売所「四季彩いちのみや」

主要用途：物産館、レストラン、公衆トイレ
施工者

建築：山内建設、佐藤建設

設備：九電工

外構：クマレキ工業

植栽：阿蘇造園

建築面積：499.02 m²

延床面積：377.30 m²

階数：地上1階

構造：鉄骨造、一部木造

外部仕上

屋根：カラーガルバリウム鋼板 t-0.4

特殊立ちハゼ葺き棟無し工法

外壁：アクリル樹脂プaster塗り

櫛引仕上げ、一部杉板張り

◆加工場「工房阿蘇ものがたり」

主要用途：加工場

施工者

建築：山内建設

設備：大協熊本支店

建築面積：399.00 m²

延床面積：299.60 m²

階数：地上1階

構造：鉄骨造、一部木造

外部仕上

屋根：カラーガルバリウム鋼板 t-0.4

特殊立ちハゼ葺き棟無し工法

外壁：アクリル樹脂プaster塗り

櫛引仕上げ

建築概要

阿蘇山や外輪山を一望できるロケーションを縁取る緑の杜のように、敷地全体を公園として捉え、阿蘇らしい自然の溢れる公園のなかに建物を溶け込ませる。ワークショップで培われたコンセプトをもとに、前年完成した“阿蘇ものがたり”ブランドを生産する加工場と、そのつくりたての商品や一の宮特産の野菜やお米が販売される直売所、そして公園のトイレなどの付帯施設が阿蘇山に面して計画された。将来町民とともに練られた文化施設や湧き水を生かした公園なども計画される予定があり、その整備が待たれるところである。加工場と同じ鉄骨と木材のハイブリッド構法を踏襲しながら、曲面壁の厨房をコアにレストランと店舗エリアを自由に開放的な空間とすることで、南面のガラス越しに広がる阿蘇のパノラマを来訪者の記憶にとどめるように展開している。北側の高窓からの柔らかな光と白い壁、阿蘇の名産品であるトマトをイメージした赤い厨房、杉角材を敷き詰めた繊細で優しい天井のコントラストが明るく賑わいのある空間を導く。白く縁取られた庇から白い壁面に影をひく加工場、平行に配置された3枚の鉄筋コンクリート壁と浮き屋根をもつトイレ、開放的なガラスファサードを持つ直売所などを縦走的に配置させ、変化しながら軽やかに伸びる白い屋根群とその光と影のグラデーションが、四季折々に変化する阿蘇の山並みを際立たせることを狙っている。

建築家 プロフィール

岡部 憲明 (おかべ のりあき)
N O R I A K I O K A B E

1947年 静岡県生まれ
1974年 ポンピドゥーセンター、IRCAM の設計・監理に従事
1981～89年 RPBW パリ チーフアーキテクト
1988～94年 RPBWJ 代表 関西国際空港旅客ターミナルビル の設計
及び監理に従事
1994年 岡部憲明アーキテックチャーネットワーク設立主宰
1996年～ 神戸芸術工科大学教授

◆ 主な作品 関西国際空港旅客ターミナルビル、牛深ハイヤ大橋、ヴァレオユニシアトランス
ミッション厚木工場、桜新町の集合住宅

◆ 主な受賞 1988年 関西国際空港旅客ターミナルビル国際コンペ優勝
1995年 日本建築学会賞作品賞 (関西国際空港旅客ターミナルビル)
2001年 土木学会景観デザイン賞最優秀賞 (牛深ハイヤ大橋)
2002年 BCS賞 (ヴァレオユニシアトランスミッション厚木工場)

